

令和4年7月4日



第170号



あまぬまだより

http://www.suginami-school.ed.jp/amanuma_es/

杉並区立天沼小学校



開校15周年 ～天沼小学校開校までの歩み～

副校長 川口周作

今回は、天沼小学校が開校するまでを簡略してご紹介します。本校は、旧杉並第五小学校と旧若杉小学校との統合校です。

杉並第五小学校の前身は、大正6年(1917年)に天沼蓮華寺に「杉並村桃野(とうや)尋常高等小学校天沼分教場」です。大正13年(1925年)から今の天沼小学校があるところに、天沼分教場が建てられ、大正15年(1926年)から杉並第五小学校として開校しました。

若杉小学校は、昭和16年(1941年)に杉並第五小学校437名、桃井第二小学校185名、桃井第一小学校182名が集まり若杉尋常小学校として開校しました。杉並第五小学校から分かれてスタートした若杉小学校でしたが、67年後には再度統合することになりました。

天沼小学校の誕生まで

平成18年(2006年)2月8日に杉並区立小学校では初めての両校の統合計画が決まりました。また、校名・校章・校歌などの案を広く区民から提案してもらいました。平成20年(2008年)、21回にわたりに行われた統合協議会は様々な事柄を話し合い、決定したのち解散しました。

【統合新校の校名】

両校とも始まりが「天沼地区」であることから校名候補を「天沼小学校」とすることに決めました。

【校章】

中央に新校名の「天沼」を、小学校で勉強する楷書体で配し、二つの小学校が統合して天沼小が生まれたことを示す二本の輪で囲みました。校名の周囲のデザインは、両校の校章を思い起こせるように「杉の枝」「杉の若葉」を、優勝者に与えられる月桂冠のように周りに配し、天沼小児童がすべてにおいてチャンピオンとなってほしいということを願いました。

【校歌】

杉並第二小学校出身で高名な詩人である谷川俊太郎先生(作詞)と息子さんの谷川賢作先生(作曲)に依頼し、新校歌「世界は不思議でいっぱい」が生まれました。天沼小学校の3つの教育目標からと、未来の日には成長した子どもたちが天沼の地を支えていく人になってほしいという願いも込められています。

平成20年(2008年)4月1日に若杉小学校校舎を使用して天沼小学校が開校しました。～「開校10周年記念誌 天沼・荻窪の歴史」より引用～

今後も天沼小学校では、「不易」(いつまでも変わらない本質的なこと人間力・文化力を育てる活動)と「進化」(時代の変化に対応し、生き抜く力を育てる活動)の特色ある教育活動をはじめ、子どもたちの学びを多様に進めてまいります。

よろしくお願いいたします。

＊＊ 今月の目標 ＊＊

生活

後かたづけをしっかりとしましょう

保健

暑さに負けず元気に過ごそう

給食

好き嫌いをしないで食べましょう

7月の行事予定

日曜	行事予定	日曜	行事予定
1 金	午前授業+委員会活動	17 日	夏季休業日始
2 土		18 月	海の日
3 日		19 火	
4 月	防災館見学4 口腔保健指導6こ 低フォ	20 水	個人面談始
5 火	午前授業 保護者会135	21 木	
6 水	茶道体験5 クラブ活動	22 金	
7 木	午前授業 安全指導 保護者会246こ(移動教室説明会6/アリーナ)	23 土	7月20日(水)から29日(金)に個人面談を実施します。(土日祝日は除く。担任によって設定日時は異なります。) 既にご提出いただいている希望調査をもとに調整し、個人面談の予定を7月4日(月)に配布します。
8 金		24 日	
9 土		25 月	
10 日		26 火	
11 月	水道キャラバン4 低フォ	27 水	
12 火	午前授業 たてわり班 理科教室こだま	28 木	
13 水	避難訓練	29 金	個人面談終
14 木	読み聞かせ56こ HS	30 土	
15 金	給食終 着衣泳56	31 日	
16 土	土曜3時間授業 終業式		

学校運営協議会コーナー

子どもたちの「安心」と「安全」を願って

天沼小が行っている、子どもたちが安心して学校に通える仕組みづくりは、3つの取組が中心です。

今回、校内の生活指導の取りまとめをされている主幹教諭の中島寛人先生にお話を伺いました。

■1つ目は「いじめ」に対する取組です。

まず、未然防止として、学校生活を通じて子どもたちに思いやりの心の育成を目指すとともに、教職員には「いじめ」に対する研修を定期的に行っています。

次は早期発見と早期対応です。

毎学期1回、子どもたちに「いじめアンケート」を行い、学級担任が詳しい聴き取りを行うことで早期発見に努め、発見した「いじめ」は、校内の「いじめ対策委員会」を中心に早期解決に向け組織的に取り組んでいるそうです。

■2つ目は「安全教育」です。

登下校や家庭生活に関わる生活安全、自転車安全教室や歩行訓練などの交通安全、避難訓練を中心に災害時に命を守る行動が

身に付くよう指導する災害安全を指導されています。

■3つ目は施設安全点検です。

月初には教職員が全員で、また、学期のはじめにはPTAの方々も参加して校内や施設の点検を行い、安全な校舎で安心して子どもたちが過ごせる学校を目指されています。

中島先生は、「天沼小は子どもたちのことを教職員だけでなく、保護者や地域の方々が皆で大切にし、見守っている学校である」と感じられているそうです。

インタビューでお話を伺いながら、これからも皆で連携し、すべての子どもたちが楽しく通い、成長し続けられる学校であり続けたいと思いました。

体力調査



6月は体力調査月間でした。10日（金）には、全校で4種目の運動に取り組みました。1・6年生、2・5年生、3・4年生がペアになり、それぞれ上の学年がリードして、種目を回っていました。2年生以上は、昨年度の記録を超えられるように力を尽くしていました。初めて体力調査に取り組む1年生には、6年生が優しくサポートをしていました。また、13日（月）には天沼中学校の校庭で5・6年生はソフトボール投げと50m走の計測を行いました。広々とした

校庭で思いっきりボールを投げたり、全速力で駆け抜けたりする姿を見ることができました。今年度もAWさんにご協力いただき、計測の手伝いや誘導をしていただきました。子どもたちがスムーズに、そして精一杯運動できるのはAWさんのおかげです。学校とご家庭と地域で力を合わせ、子どもたちの体力を高めていければと思います。



15周年記念児童集会

11日（土）15周年記念児童集会が行われました。アリーナには、5・6年生。他の学年は各教室にてオンライン配信で参加しました。また、1、3、4、11期生、計7名の卒業生をゲストとしてお迎えしました。

オープニングは6年生による「天沼伝」。天沼小伝統の太鼓を披露しました。

その後は、代表委員が考えた「天沼小クイズ」を全校のみんなで解きました。答え合わせの際に、ゲストの方から当時の様子や思い出の話を

いただいたり、歴史や文化、今の天沼小について理解を深めたり、楽しい時間を一緒に過ごしました。そして、久しぶりのピアノの生演奏での校歌斉唱。小さい声でも、心を込めて歌えたのではないかと思います。最後に各学年の代表者が恒例の「くす玉」を割り、お祝いムードで集会が終わりました。10周年の時、今の6年生は1年生でした。ということは今の1年生が6年生の時に20周年を迎えます。天沼小の伝統を引き継いでいってほしいと思います。



こだま学級移動教室

こだま学級は6月8日、9日の1泊2日で子どもたちの楽しみにしていた連合移動教室へ、済美小学校と一緒に行きました。昨年度は12月に延期されましたが、今年度は予定通り実施されました。初日は昨年度できなかった富士の樹海を歩くハイキングや花火を経験しました。自然の中を歩くことで感じる空気や風、きれいな景色を見ることができました。花火は打ち上げ花火や手持ち花火をして、始めは怖がる姿も見られましたが、すぐに慣れて楽しむことができました。学園での生活では、しおりを見て見通しをもったり、与えられた役割にしっかり取り組んだりする姿も見られました。昨年度の経験を生かし、自信をもって取り組む姿に成長を感じました。2日目も無事に遊覧船に乗ることができて、子どもたちの笑顔をたくさん見ることができた移動教室となりました。



天沼まつり

1組は人間すごろく、2組はもぐらたたきとポッチャ、3組はボーリング、4組は射的のお店を開きました。「まつり」や「お店」のイメージがもてない子どももいる中で、話し合いを重ね準備を進めました。6年生がアドバイスをしてくれる機会があり、お店の名前やルール等を、子どもたちの意見の中から決めることができました。当日は自分の役割を一生懸命果たそうとする姿が見られました。学級全員で1つのことを創りあげた経験を、来年度の天沼まつりや今後の活動に生かしていきたいと思っています。



1

3年生は各クラス2名の天沼まつり実行委員を決め、実行委員を中心に計画・準備を進めました。お店の名前や内容、遊び方のルールなど、5年生にアドバイスをもらいながら自分たちで決めました。当日も5年生に手伝ってもらいましたが、それぞれの担当ごとにどのように仕事をするか考えながら準備をしてお店を開くことができました。終わった後の子どもたちの表情は、どの子も充実感に溢れていました。天沼まつりを終えて、一回り成長した3年生でした。



3



「クラスサポーター」は各クラスのお店のサポートを、「広報」は、準備や当日の様子を映像にまとめました。「代表委員」は、開閉会式など全体の進行を務めました。6年生は昨年度に続き、2回目のサポートでした。「昨年度の失敗を生かして、事前に計画を立て、効率よくできた。」「昨年度よりさらにパワーアップして、動画づくりを行った。」など、昨年度の経験を生かして活動している姿はさすが最高学年でした。5年生は初めてのサポートでした。「今年うまくできなかったことを、来年は克服したい。」「もっと違う学年の子に話しかければよかった。」など、反省点も多かったようです。ぜひ、今回の経験を様々な場面で生かしてほしいです。今年度のスローガンは、『はしゃいで楽しめ きずなをためす 15年目の天沼まつり』でした。「スローガン通りみんなが楽しめていたり、違う学年の人たちと絆を深めることができた。」「という感想もあり、盛り上がった2日間でした。



2回目の天沼まつり。2年生は、1年生の時のことをよく覚えていて、昨年度の経験を生かしながら取り組みました。今年は、どのクラスも、ミニゲームを組み合わせたお店を出すことにしました。1組は海賊の島、2組はサイコロ、3組はペットボトルキャップ、4組は昔遊びでと、それぞれのクラスに特色が出ました。6年生にも手伝ってもらいながら、大人の助言なく準備や当日の運営をする姿には、大きな成長が感じられました。振り返りからも自分たちの力でお客さんを楽しませることができたという達成感が伺えました。

2



5年生からは下級生のお店サポートの仕事をするため、今年度が最後のお店当番でした。4年間で学んできたことを生かして「天沼まつり実行委員」が中心となり、お店の準備を進めてきました。今までの経験から必要な係や材料も自分たちで率先して考えることができました。また、社会科「ごみの処理と再利用」の学習で学んでいることを思い出し、「なるべくごみを出さないようにしよう。」「家で使わなくなった物を道具として使おう。」と呼びかける児童も見られました。それぞれの学級がどのようなお店だったのかは、ぜひお子さんから話を聞いてみてください。

4



5 6

今年度も5・6年生は、天沼まつりの運営側・サポート役を務めました。「クラスサポーター」「広報」「代表委員(まつりの進行)」の3つの役割に分かれ、まつりの準備からサポートしてきました。「クラスサポーター」は各クラスのお店のサポートを、「広報」は、準備や当日の様子を映像にまとめました。「代表委員」は、開閉会式など全体の進行を務めました。6年生は昨年度に続き、2回目のサポートでした。「昨年度の失敗を生かして、事前に計画を立て、効率よくできた。」「昨年度よりさらにパワーアップして、動画づくりを行った。」など、昨年度の経験を生かして活動している姿はさすが最高学年でした。5年生は初めてのサポートでした。「今年うまくできなかったことを、来年は克服したい。」「もっと違う学年の子に話しかければよかった。」など、反省点も多かったようです。ぜひ、今回の経験を様々な場面で生かしてほしいです。今年度のスローガンは、『はしゃいで楽しめ きずなをためす 15年目の天沼まつり』でした。「スローガン通りみんなが楽しめていたり、違う学年の人たちと絆を深めることができた。」「という感想もあり、盛り上がった2日間でした。